

東陽中学校の建て替えについて

【内容】

東陽中学校の木造校舎が取り壊されると聞きました。木造校舎の維持の難しさもわかりますが、なんとかもう一度ぎかいなどで話し合っって保存する方向にできないでしょうか。

【回答】

東陽中学校の校舎は、昭和 12 年に建築された木造校舎で、市立の学校校舎の中ではいちばん古く、長い歴史を持ち、多くの方々の思い出に残る校舎であると思います。しかし近年老朽化がかなり進んでおりまして、雨漏れや白蟻の被害など毎年多くの箇所の修繕を行っている状況であります。また平成 9 年に育友会から校舎の建て替えについての要望が出され、以来毎年市並びに教育委員会に対して校舎建て替えの要望・陳情が行われ、さらに平成 16 年 3 月には地元から市議会へ「校舎改築に関する請願」が提出され、採択されたところであります。

市といたしましては、こうした状況を踏まえ、また校舎の雨漏れや廊下のきしみ等も年々ひどくなる状況であることから、できるだけ早く校舎の建て替えを進めていかなければならないと考え、これまで他の学校施設建築との調整を図ってまいりました。そして今回、平成 19、20 年度で建て替えを実施することを決定し、現在、新校舎建築のための設計業務を行っているところでございます。

長い歴史を持つ木造校舎が残っていることは貴重なことであると十分理解しておりますが、生徒の教育環境の改善を進めていくことが最重要課題であることから、建て替えすることを決定いたしました次第でありますので、ご理解をいただきたいと思っております。

(担当：教育学事課)